

浅井町ふれあいたより



2月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 令和3年2月1日
発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

“With コロナ” の中での「いのち」の授業

～いまこそ『利他共生』を～ 一宮市立浅井中学校 校長 山田貞二

「新型コロナウイルス感染症の広がり」は私たちの生活に大きな影響を与え、教育活動もさまざまな面で制約や規模の縮小を余儀なくされています。コロナ禍の収束が見えない今、“With コロナ”の時代にだからこそ「いのち」の授業が重要と考えて学校経営を進めてきました。「教育を止めない」という信念のもとに修学旅行や体育祭、合唱祭などの学校行事も感染症対策を徹底した上で実施をしてまいりました。



寺田ユースケさん

そして11月8日(日)には、3人の講師をお呼びして「いのち」の授業を行いました。1年生は生まれつき足に障害があるにも関わらず Youtuber として活躍している寺田ユースケさん、2年生はオール1の落ちこぼれから高校の先生となった宮本延春さん、3年生は壮絶ないじめ体験をもつ漫才師のオレンジのお二人が講師です。

3人の講師に共通しているのは、周囲から心無い言葉を浴びせかけられたということです。差別や偏見を体験し、辛い日々を送る中で彼らが「生きる喜び」を見つけることができたのは、温かい「人」の存在でした。寺田さんには家族が、宮本さんには職場の親方が、オレンジさんには芸人仲間が温かい声をかけ、折れそうになる心を支えました。

今回の「いのち」の授業を通して、生徒は「誰かのために自分をいかすことの大切さ」を学びました。コロナ禍の中、さまざまな偏見や差別が人を苦しめています。人を大切にし、人に優しくできる浅井中生であってほしいと思います。

最後に、私事で恐縮ですが、この3月をもって定年退職を迎えます。浅井町の皆様には4年間の長きにわたって温かいご支援をいただき、『利他共生』の学校づくりを進めてまいりました。今後の浅井町の発展と浅井4校の教育の充実を祈念しまして、退職のあいさつとさせていただきます。4年間、ありがとうございました。



浅井消防団年末特別警戒

恒例となった消防団年末特別警戒が12月29日(火)と30日(水)に行われ、浅井消防分団も地域の防災・防火活動として夜間パトロールを実施しました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市長、副市長の激励は自粛となり、地域の各団体からの激励となりました。地元市議、正副連区長、地域づくり会長、公民館長等が午後8時前に消防団詰所に集合し、団員を激励しました。日頃の地道な消防団活動によって浅井町が安全、安心な町となっています。感謝！

浅井児童館からメリークリスマス

12月5日(土)、浅井児童館でクリスマス会が開かれました。例年なら100名以上が一堂に集い、賑やかなクリスマス会ですが、今年は密にならないように、そして安全、安心に楽しく過ごせるようにと定員を各回15名に限定し、開催回数を午前2回、午後2回の合計4回に増やして行われました。

今年のクリスマス会はまず、ネームシールにつけられたスクラッチカードを削り、ベルチーム・サンタチーム・トナカイチームのグループに分かれ、3つの部屋を入れ替わりながら射的などのゲームを楽しみました。中でも、2人がペアになり、輪にした太めのゴムを広げて空き缶を挟んで運ぶゲームは密にならず、相手と力を合わせるもので、歓声をあげながら走り、盛り上がっていました。ゲームを楽しんだ後はブラックライトを使ったミュージックシアターをみんなで見ました。最後に、サンタクロースから届いた手紙を先生が優しい口調で読み上げました。来年はぜひ児童館へプレゼントを持って訪れたいことや、それまでみんなは元気で優しさを忘れずに過ごしてほしいという温かいメッセージでした。そのサンタクロースからのプレゼントを先生方が紐の先につけて「千本引き」という楽しいゲームにして、みんなワクワク、ドキドキしながら選んだ白い紐を引っ張っていました。

今年のクリスマス会は、いつもとは大きく違いましたが、子ども達と先生方が意見を出し合い、手作りでゲームを準備した心のこもった素晴らしいイベントでした。



防災講習会の開催



12月16日(水)午後2時より、公民館2階大会議室で防災講習会が開催されました。例年12月に開催している「町内防災リーダー養成講座」はコロナ禍の為中止となり、その代替事業として、危機管理課の倉見課長と宮田副主監による「地震への備え・避難所のコロナ対策」という出前講座を開催し、22名の町会長さんと地域づくり協議会役員含め30名限定での講習会となりました。

講習会の中で、災害時には「自助70%（自分の身は、自分で守る）、共助20%（地域の人たちが、力を合わせて協力する）、そして公助10%（国・県・市などの行政機関の支援）」の割合での対応となります。その為、自分と家族だけでなく、住民同士が助け合うことがとても大切です。この講習会で学習された事を各町内に持ち帰り、それぞれの町内の防災・減災意識が大いに高まることが望めます。

浅井町の文化財・史跡紹介（7）「遍照寺本堂」

小日比野にある「遍照寺」の寺号は天竜山遍照寺で、宗派は高野山真言宗。本尊は秘鍵大師木坐像で鎌倉末期から室町初期に製作されたと推定され、右手に剣、左手に数珠を持つ特殊な姿をした弘法大師像です。本堂は、昭和13年に建てられ、同15年に高野山真言宗に属する常喜院を本寺として、同院より本尊が迎え入れられました。開山は尾関真猛師で、境内は約600坪、当時の信徒は約1,000戸でした。

